

INTERIOR GUIDE



主役はあなたとあなたの家族

マイホーム、みなさんはどんな夢をお持ちでしょうか。
実際に家を建てる時、検討し、決めなければならないことがたくさんあります。
モデルホームを見ながら、打ち合わせはどんな風に進められるのだろうか、
前もってどんなことを考えておけばよいのだろうか? などなど、
実際のところを知りたいと思われる方がたくさんいます。
住宅メーカーによりそれぞれ進め方はありますが、比較的広く行われている進め方を例に、
ここでは様々な夢の中でも身近なテーマであるインテリアについて、
「設計段階で決めること」「インテリア打ち合わせで決めること」の区別など、
順を追ってわかりやすく説明していきます。どうぞ、これからのご計画にお役立て下さい。
末尾にドア・床の色やカーテン・家具を組み合わせイメージできるよう
「自分でカラーコーディネート!!」のページを設けています。
ぜひ、ご家族でお楽しみください。



インテリアに関心を持つ人が多くなっていることは
とてもうれしいことです。

でも、ちょっと単品志向かな、と感じています。
単品だとかわいいかわいくないか、好きか嫌いかで、
話が終わってしまいますよね。

雑貨から出発しても、次はカーテンに、そして照明や家具へ、
床や壁へと、目を向けていってほしいですね。
ファッションと同じように組み合わせの中に
個性やセンスが表現されます。

主役はあなたです。

自信のあるなしにかかわらず、
興味を持って組み合わせをたくさん試してみてください。
ご自分でいろいろ試してみると、
ひとつひとつの見え方も変わってきます。
コーディネートとは文字通り組み合わせ。
ひとりでも多くの人が
その面白さに出会ってほしいと願っています。



中山邦子 (なみやまくにこ)

二級建築士 / インテリアプランナー
インテリアコーディネーター

1969年京都工芸繊維大学卒
百貨店家具装飾部(現装飾部)勤務後、昭和51年フリーでの活動を開始。現在、中山
インテリア研究所として活動。銀行、船舶等のインテリアデザインから出発。集合住
宅の住戸計画やインテリア提案、住宅メーカーのインテリア部門へのさまざまな企画、
提案、コンサルティング、社内コーディネーター研修講師などのほか、現在、コントラ
クトとハウジングの両方にかかわった経験を生かし、大学非常勤講師や講演、執筆等
活動は多岐にわたる。

「もっと楽しもう!インテリアコーディネート」
ABCハウジングのホームページで好評連載中。
<http://www.abc-housing.co.jp/>

インテリアの打ち合わせはいつするのでしょうか？

マイホームが出来上がるまでには、たくさんのプロセスが必要です。その中で、気になるインテリアについては、いつ決めるのでしょうか？住まいができるまでのプロセスをたどりながら、インテリア打ち合わせのタイミングを見てみましょう。



イメージづくり

家族全員の希望をまとめます。

インテリア打ち合わせ

契約を済ませたら、いよいよインテリアの打ち合わせに入ります。

- 各部屋の内装仕上げ材を選びます。
- キッチンやバスルームなどのカラーコーディネートを行います。
- 収納内部の中仕切りを決めます。
- 希望によりカーテンを選びます。
- 希望により照明器具を選びます。

写真提供:パナホーム(株)



竣工

工事がすべて完了しました。

着工

希望により地鎮祭を行います。

上棟

希望により上棟式を行います。

モデルホーム見学

工法、構造、外観、インテリアなど、家族全員が納得いくまで見学しましょう。



ABCハウジングでモデルホーム見学!

住宅公園なら、いろいろな住宅メーカーのモデルホームを見学でき、外観や構造だけでなく、インテリアを実際の空間として体感できるというメリットがあります。また、住まいに関するセミナーや相談会などに気軽に参加できるのもいいですね。

契約

詳細が決定し、正式に工事請負契約を結びます。



住んだつもりで細かくチェック。

施主検査

引渡し

指摘した直しを確認し新居の関連書類とカギを受け取ります。

入居

念願の新居での生活がスタート。でもインテリアはこれでゴールではありません。ゆっくりと我が家らしさに磨きをかけ、ファミリーのスタイルを育て上げましょう。



※このプロセスは、住宅メーカーにより異なります。

概算見積り

数社に予算と希望を伝え、基本設計と概算見積りを依頼、比較検討します。

候補メーカーを比較検討

家族で話し合っ
て数社に絞り込みます。

資金計画

無理の無い資金計画を立てましょう。

メーカー決定

1社に絞り込み、仮契約を結びます。

本設計・本見積り

プランと見積りの修正を依頼、納得のいくまで検討します。この段階で、インテリアに関して伝えておくといでしょう。



インテリアの打ち合わせでは どんなことを決めるのでしょうか？

建物内部の仕上げ材や色を中心に、部屋ごとにひとつひとつ決めていきます。



A 建具・造作

まず最初に建具(ドアや戸)・造作(幅木や回り縁、階段など)の色を決めます。
ドアのデザインなども選びます。



B 天井

天井仕上げ材を決めます。
クロス張りが多いですが、板張りなども素敵です。

C 壁

壁仕上げ材を選びます。
クロス張りが多いですが、アクセントに1面だけ板張りなど他の壁材にすることもできます。

D 床材

床材を選びます。
フローリングが人気ですが、カーペットなど他の床材も選べます。

! 天井・壁・床の仕上げで、石張りやタイル張りを希望する場合は、設計段階で相談しましょう。



E 和室

床材としての畳、壁仕上げ材としてクロス、天井は木目の化粧板のほか、壁と同じくクロス張りもできます。
障子や襖のデザインも選びます。

! 和室の場合、掘りごたつをはじめ、床の周りのデザインなど設計段階で決めることが多いので注意しましょう。

F キッチン

インテリア打ち合わせでは、キャビネットの面材やワークトップの色を決めます。ダイニングやリビングから見える場合が多いので、全体を見ながらカラーコーディネートしましょう。

! キッチンの配列や組み込み機材の選択などは設計段階で決めます。



G ウィンドウトリートメント

カーテンやブラインドなどのウィンドウトリートメントはオプションとなっている住宅メーカーが多いですが、一緒に工事をしてしまえば、寸法違いや取り付けミスを防ぐことができ、スペースにふさわしいものが選べて安心です。

H 照明器具

照明器具についてもオプションとなっている場合が多いでしょう。食卓上のペンダントライトは位置を決めて取り付けるので、ここで選ぶメリットはあるでしょう。

! 間接照明を希望する場合は設計段階で相談しましょう。

I 家具

家具はほとんどの場合オプションです。
家具店と提携している住宅メーカーも一部あります。
新居でお使いになる家具などお持ちの場合は、伝えておくと良いでしょう。



J 浴室

バスルームはカラーコーディネートになります。まずバススタブの色を決めて、床や壁の色を合わせていきます。

! ジェットバスや浴室乾燥などは設計段階で決めます。

K 洗面

シンクやキャビネットの色を決めます。

! カウンターの長さやシンクの数、鏡の大きさや収納の量は設計段階で決めます。

L 収納

収納内部の中仕切りやハンガーパイプなど、スペースを有効に使うシステム部材を用意する住宅メーカーが増えてきました。寝室のほか、玄関、洗面所などの収納内部の相談をすることができます。

! 各部屋の収納の配置は設計段階で決めます。



写真提供: パナホーム(株)

インテリアの打ち合わせは どのように進められるのでしょうか？

ご家族全員で実物やサンプルを見ながら選んでいきます。
進行役はインテリアコーディネーターがつとめます。

インテリアの打ち合わせは、
各種のサンプルをそろえたサンプルルームで行われます。



写真提供:パナホーム(株)

フローリングを初めとする床材、クロス類、カーテンの生地見本や付属部品等のほか、ドアや障子・襖などの建具類、キッチンの扉面材やカウンター・人造大理石の色見本からサニタリーの陶器色見本など、さまざまなサンプルを一箇所で見るすることができます。
サンプルルームにあるものは、施工上適合するものばかりなので、安心して選ぶことができます。



写真提供:パナホーム(株)

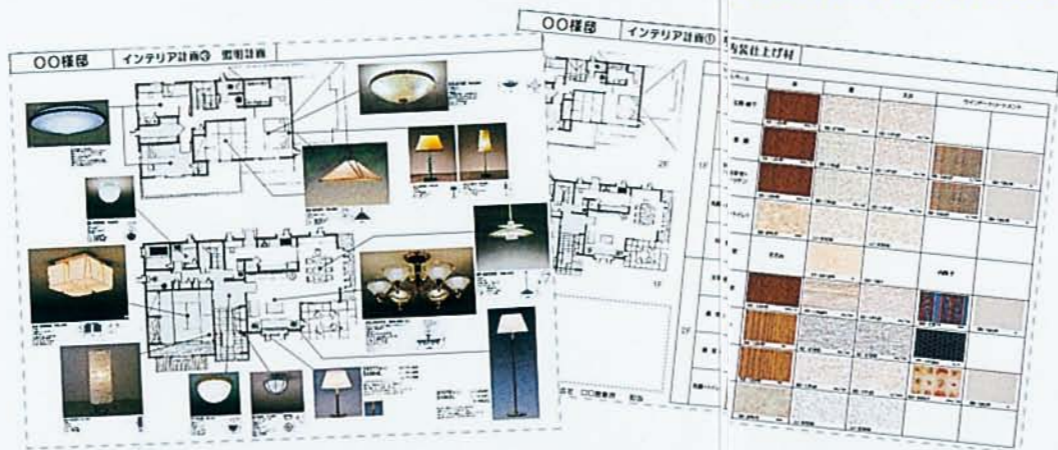
収納内部のシステム部材を展示。
収納方法の打ち合わせをする場合もあります。



プレゼンボードは、選んだものを確認し、
検討しやすいように作られます。



外壁材や屋根材、サッシの色見本などを置き、外装カラーコーディネートを行う場合があります。



POINT インテリア打ち合わせの手順

1 ご家族おそろいで
サンプルルームへ



2 コーディネーターが案内します。
部屋ごとの内装仕上げ材などを順次お選びください。
追加注文がある場合は、追加見積りを依頼します。
コーディネーターにおすすめ案の作成を頼むこともできます。

追加注文
標準の内装材は契約金額に含まれています。サンプルを見て、グレードの高いものに変えたいと思ったら、追加見積りを取って検討します。



3 選んだものはプレゼンボードに
まとめられます。
ご家庭でじっくりご検討ください。



4 再度サンプルルームを訪れ、
修正箇所を確認します。

オプションでカーテンや照明器具を購入する場合は、ここで選びます。
希望により、個別のメーカーのショールームに案内してもらうこともできます。

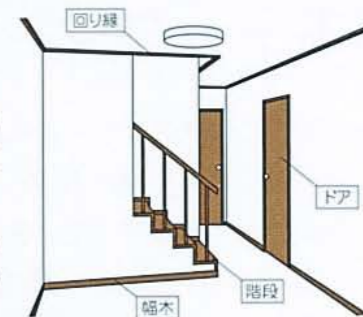
5 インテリアの仕様が決まり、
工事部門に伝達され内装工事が行われます。

あなたの好みのインテリアは どんな感じでしょうか？

建具・造作の色は各社いろいろ設定していますが、ここでは濃い色のグループ、中間的な色のグループ、淡い色のグループと、3段階に分けています。インテリアのお好みもいろいろお持ちと思いますが、これも大まかに3つの方向、すっきりと簡潔なモダン系、自然の素材感が優しいナチュラル系、ちょっぴりゴージャスなクラシック系に分けて一覧表にしています。お好みの傾向を写真例でお確かめください。

POINT

インテリアの打ち合わせでは、建具(ドアや戸)・造作材(幅木や回り縁)の色を決めるところからスタートします。洋室の場合、建具と造作は同じ色を使うのが原則とお考えください。床をフローリングにする場合、建具・造作とフローリングは近い色にするのがすっきり見えてお勧めです。(カーペットなど他の床材の場合は自由にお選びください。) ということは、建具・造作の色を決めた時点で、部屋の1/4の色が決まることとなります。このため、建具・造作の色を選ぶにあたって、できあがりが大体どんな感じになるか、あらかじめチェックしておきましょう。



建具・造作の色

フローリング色

モダン系

すっきりと簡潔、大人のシンプルスタイル

ナチュラル系

自然の素材感が優しい、ほっと落ち着くインテリア

クラシック系

ちょっぴりゴージャスを楽しむエレガントなインテリア

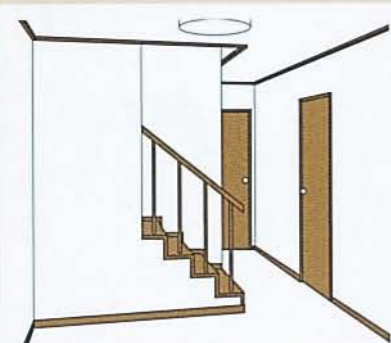
ダーク



ダークな色を使うと、コントラストの利いた、メリハリ感のある力強い感じに。



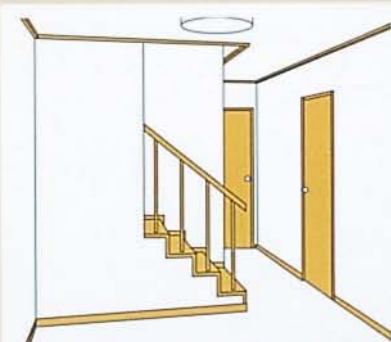
ミディアム



ミディアムな木の色は、親しみやすく安心感がありますが、カラーコーディネートは意外に難しい。



ライト



ライトな木の色は部屋を広く見せ、明るく開放的な感じに。カーテンや家具など最も色が使いやすい。



インテリアエレメントごとに チェックポイントを見ていきましょう。

家づくりのプロセスの中でも最も身近に感じられるインテリア打ち合わせ。実物のサンプルを手に取りながら選んでいくので、ウキウキとあれこれ目がいてしまいがちですが、玄関から始まって順次すべての部屋を決めていくのは思いのほか時間がかかるものです。スムーズに進められるよう、打ち合わせの日までにご家族の希望をよく話し合っておきましょう。新居でも使いたいお手持ちの家具などがある場合は、写真を撮っておき、打ち合わせに持参しましょう。自分でも思いちがいが防げ、コーディネーターも相談に乗りやすくなります。

内装仕上げ材を選びましょう。

建具・造作材

家全体を同じ色で統一するか、何種類かを組み合わせるかを考えます。

部屋ごとに違う色のドアにすると… ドアは両面同じ色なので、廊下から見た時、違う色のドアが並ぶことになります。

1階と2階を違う色にすると…… 1階と2階は階段でつながっています。階段を上りきったあたりに、幅木など切り替え場所が出てきます。

それぞれのスペースの充実を優先するか、全体の統一感を優先するか、それは好み次第です。統一する場合は、玄関ホールやリビングなど、家族みんなのスペースで使いたい木の色(床も含めた)を建具・造作の色にするとよいでしょう。後はどの色にするか、前頁のインテリアイメージ一覧なども参考にしながら、お選びください。

※造作材の例として、カーテンボックスや窓額縁(サッシの部屋側に付く木製の枠)、吹き抜けの壁につけられる1階と2階とのつなぎ材やニッチ部分の棚板なども含まれます。



廊下や階段にも幅木は付きます。回り縁は付けないこともあります。幅木は和室以外、原則どの部屋にも付くとお考えください。

床材

床材には人気のフローリングのほかにも、カーペットやプラスチック系床材、コルク材、リノリウム材などいろいろあるので、スペースに応じて選びます。

タイルや石張りを希望する場合は、設計段階で伝えておくのと良いでしょう。

フローリングの場合、建具・造作材との相性をまず第一に考えます。近い色を選ぶと、玄関やリビングなど床面がたくさん見えるスペースではすっきり見えてお勧めです。

木目もいろいろありますが、床があまり目立ちすぎない方が家具などを組み合わせやすいでしょう。

カーペットなど木製以外の素材の場合には、家具やカーテンなど全体の色調を考慮することが大切になります。



タイルや石張りの床も素敵です。



カーペットにすると色使いの幅が広がります。

キッチンの色を決めましょう。

キッチンの配列や機材の組み込みはすでに設計段階で決まっています。インテリア打ち合わせでは、キャビネットの面材の色やワークトップの色を決めます。

クローズドキッチンや、ダイニングなどからあまり見えない設定の場合には、他のスペースとの関係を考えてよいので、自由にお好きな色で決めてください。

対面型キッチンは、腰の部分は壁と同じ仕上げですが、ウォールキャビネット(吊戸棚)がダイニング側に見えてきます。鮮やかな色を選ぶ時は、ダイニングやリビングとのコーディネートをしっかり考えましょう。



ONE POINT ADVICE

フロストガラス風のキャビネットは、イメージ的にはシャープでモダンな感じです。コーディネートはシャープでモダンにまとめるとよく似合うでしょう。



壁材・天井材

壁材の場合クロス張りが最も一般的です。布目や石目、塗り壁風などたくさんのデザインが作られています。

壁といえば白と思いがちですが、あまり真っ白なものを選ぶと、カーテンや家具などがくすんで見えやすいので、わずかにニュートラルに色が付いているものをお勧めします。

ほとんどが無地調なのであまり細かい柄行にこだわらず、大き目のサンプルを少し離れて見ながら、全体の色の調子などで気に入ったものを選んでいきます。クロス張りのほか、板張りやタイル・石張り、腰部分にのみ板材を使う腰板張りなどもできますが、タイル・石張りを希望する場合は設計段階で伝えましょう。

玄関やリビング、ダイニングはみんなが使う場所なので家族の合意で、寝室や個室は使う人の好みで個性を発揮してください。



ONE POINT ADVICE

中間トーンのクロスを選ぶのは勇気がいるかもしれませんが、寝室などにやわらかいペーージュなどを使うと、とても落ち着いた雰囲気になります。

天井材も壁材と同じく、クロス張りが最も一般的です。壁とまったく同じクロス張るのも一体感があってなかなかよいでしょう。また、天井を板張りにするのも素敵です。

方向性のある柄(ストライプなど)は天井には向かないので、方向性の無いものを選びましょう。



和室の仕上げ材を選びましょう。

和室の設定のうち、床の間のデザインは押入れの配置などとともに設計時に決められます。

和室の造作材は洋室と違い、ヒノキ材で無塗装です。新しいうちは特に白っぽく見え、洋室との接点はまさしく異文化の合流地点。洋室と和室の両方を楽しむすばらしい文化ですが、つなぎ目は残された課題かもしれません。



ONE POINT ADVICE

畳コーナーで「和」の感覚を楽しみたい場合は部屋として仕切らないので、洋室仕上げの中に畳の床を造ることになります。畳コーナーを希望する場合は、設計段階で配置を決めます。

壁はクロス仕上げが一般的です。和室に似合う塗り壁風や和紙風のものもたくさん出ています。お好みのものを選んでください。

洋室感覚の明るい色のほか、伝統的なじゅうらく壁のようなアースカラーも障子や襦の白が映えて美しい和室になるでしょう。

床の間の壁だけ別のクロスを貼ったりするのも面白いかもしれません。

天井は木目の天井仕上げ材のほか、クロス張りもモダンな感覚の和室になりそうです。



収納の内部を決めましょう。

家全体や各部屋の収納の配置は設計段階で決めますが、内部の細かい設定を、中仕切り部材を揃えて相談に応じることができるようになってきました。

衣類の多い寝室収納では、奥行きを使い切るために引き出しやスライドかご等のパーツが有効でしょう。

玄関では靴の収納量を確保すること、傘やブーツ、ゴルフバッグなど、形の違うものを収納する工夫が必要です。

納戸やウォーク・イン・クローゼットのようにまとまったスペースでは、大型の家財や季節のものなど、大きさと出し入れの頻度を考えて大まかなスペースの配分を決めてから、細かいものをわかりやすく収納できるパーツなどを当てはめていきましょう。



写真提供: シンホーム(株)

ONE POINT ADVICE

別途、造り付けの収納やデスクと一体のものなども頼めますが、設計段階で相談しておくことをお勧めします。部屋の形や広さ、窓の位置や大きさなどと一緒に考える方がよいからです。



サニタリースペースを決めましょう。

バスルーム

バスルームはシステムタイプの採用が多くなっています。

バスタブの色ごとに床や壁の色はセットになっているケースが多く、決めやすくなっていますが、どうしても気に入った色が無い場合は、遠慮せず相談してみましょう。

コンパクトなバスルームの場合は明るい色を心がけると、広く見えます。ゆとりのあるタイプや大型のバスタブの場合には、個性的な色もトライしてみましょう。



ONE POINT ADVICE

システムタイプではなく注文バスルームを希望する場合は設計段階で相談しましょう。



洗面・トイレ

洗面所の内装仕上げ材と、洗面化粧台のシンクやキャビネットの色を選びます。

洗面所の床は廊下などとの続きでフローリングにすると快適です。どうしても水はねなどが気になる場合は、プラスチック床材を選ぶこともできます。

壁、天井はクロス張りが一般的です。壁は表面の凹凸の少ないものが、掃除がしやすいでしょう。色は清潔感をポイントに、洗面化粧台やバスルームとの相性も考えて選びます。

洗面化粧台は、バスルームと一体となったコーディネートの場合と、バスルームとは切り離し、居室的な感覚でドレッサーのようにまとめる場合とがあるでしょう。



トイレは、廊下から直接入る場合は廊下と同じ仕上げも落ち着いてよいでしょう。

1階のトイレは来客も想定して手堅くまとめ、2階のトイレはちょっと遊びを入れて、第2の思索の場所としてシックな仕上げにするもよし、楽しい色使いにするもよし、ご家族でご検討ください。



ウインドウトリートメントを選びましょう。

カーテンやブラインドなどのウインドウトリートメントはオプションにしていることが多いですが、同じ会社で施工する点では寸法違いや取り付けミスを防げ、スペースにふさわしいものを選んで安心です。

最も一般的なカーテンは、ドレープとレースの二重吊りです。太陽光線を調節し視線をさえぎるほかに保温の役割もありましたが、最近はサッシの性能が向上してきたので、軽い感じに仕上げる傾向です。

雨戸をつけない2階の寝室などは遮光性のある生地の使用もよいでしょう。

シェードはモダンなスペースにも、畳コーナーのある「和」の感覚のスペースにも合うスタイルとして、すっかり定着してきました。ロールスクリーンや木製ブラインド、縦型ブラインドなど、いろいろな種類の中から選べます。



ONE POINT ADVICE

クラシックな感じにしたい時には、装飾レールや房付きタasselなどを組み合わせると雰囲気が出ます。



照明器具を選びましょう。

サニタリースペースや廊下などの照明は設備として付いてきますが、リビング、ダイニングや寝室などの照明はオプションにしているケースが多いでしょう。一般的に天井は自分で好きな位置に照明器具が取り付けられる構造ではなく、後で自由に付けられるのは引っ掛けシーリングが設置されているところだけです。

ペンダントライト、ブラケット、スポットライトなど位置を指定して取り付けたいものは工事が必要なので、一緒に施工してしまうメリットはあるでしょう。

引っ掛けシーリングは通常部屋の中心に設置されるので、家具配置などの関係で位置を指定したいときは、設置位置だけでもお願いしておきましょう。



スタンドタイプのは好きな場所に置けます。いろいろにお楽しみください。



ONE POINT ADVICE

ダウンライトは構造によっては取り付けられない場合があるので、注意が必要です。間接照明についても、設計段階でよく相談しましょう。

インテリア打ち合わせについて、順を追って説明してきましたが、インテリアが決まってくるといくプロセスを実感していただけたでしょうか。

インテリアと言えば家具や照明など目立つ要素が目が行きがちです。けれどもまず、部屋を構成する床、壁、天井などの内装仕上げ材をしっかりと選んでいかなければなりません。普段はあまり意識していない建具・造作の色が、実際には大きな意味を持ってきます。それはフローリングとともに、部屋の中の「木の色」として、カラーコーディネートの「かなめ」になってくるからです。

そこで、木の色をカラーコーディネートのベースに考えてもらうために、末尾にインテリア着せ替えシミュレーションを作成しました。おおまかですが、イメージしやすいように一般的な部屋としました。木の色選びからスタートし、次にカーテンや家具などを組み合わせ、ご自分で着色もしながら、カラーコーディネートをいろいろお試しください。たくさんのカラーコーディネート例を分析すると、いくつかのパターンに分かれてきます。その中でよく好まれる代表例を参考までにご紹介しておきましょう。

実際に住宅メーカーで家を建てる場合、インテリアをどういう風に決めていくのか具体的なことが案外知られていません。このプロセスを事前を知っておくことで、インテリア選びそしてよりよいマイホームづくりにお役立ていただければ幸いです。

カラーコーディネートでよく好まれる代表例

●穏やかで広がり感のある同系配色

似た色の組み合わせの中に、アクセントとなる色を少し加えると、部屋全体がいきいきとくるでしょう。



●メリハリがあって力強い感じのコントラスト配色

くっきりとした色使いの中に、両方を取り持つような橋渡しの色をひとつ加えると、しっくりなじむでしょう。



インテリア着せ替えシミュレーション 「自分でカラーコーディネート!!」

お気に入りのイメージを見つけましょう。切って・塗って・重ねて・置いて…いろいろ試して、家族みんなでコーディネート!



インテリア着せ替えシミュレーション 「自分でカラーコーディネート!!」

お気に入りのイメージを見つけましょう。
切って・塗って・重ねて・置いて…いろいろ試して、家族みんなでコーディネート!

1 折り返しのページには、床部分が抜かれた3種類の部屋と組み合わせ用の家具を用意しています。組み合わせ用の家具は切り離してください。

部屋の壁や天井は、クロス張りを想定し、どれもオフホワイト系の同じ色にしています。建具・造作の色は、3種類それぞれダーク・ミディアム・ライトの木の色に分けています。折り返した状態では、それぞれ建具・造作と床の色が同色の組み合わせに設定しています。実際にはそれぞれ別の部材なので、まったく同じ色にはならないですが、一体感があり家具など組み合わせやすくなります。木の色が違うだけで部屋の感じが変わることがよくわかりますね。



●家具配置見本
切抜きの各パーツは、こんな配置になるように描かれています。
※この見本も、好きな色を塗ったり各パーツを重ねたりして、お試しください。



2 右ページには床用サンプル色を7色用意しています。折り返しページの部屋をミシン目で切り離し、床用サンプル色を重ね、お好みの組み合わせを探ってください。



4 各パーツをそれぞれの部屋に重ね、いろいろな組み合わせをお楽しみ下さい。色の付いていないパーツには、ご自分で好きな色を塗って下さい。彩色には、色鉛筆が薄くも濃くも塗り分けられて使いやすいでしょう。



3 組み合わせるカーテンはこのページの下、家具は折り返しのページに用意しています。木の色の組み合わせシミュレーションが終わったら、その上にカーテンや家具を置いてみましょう。カーテンや家具が加わると、また感じが変わってきます。

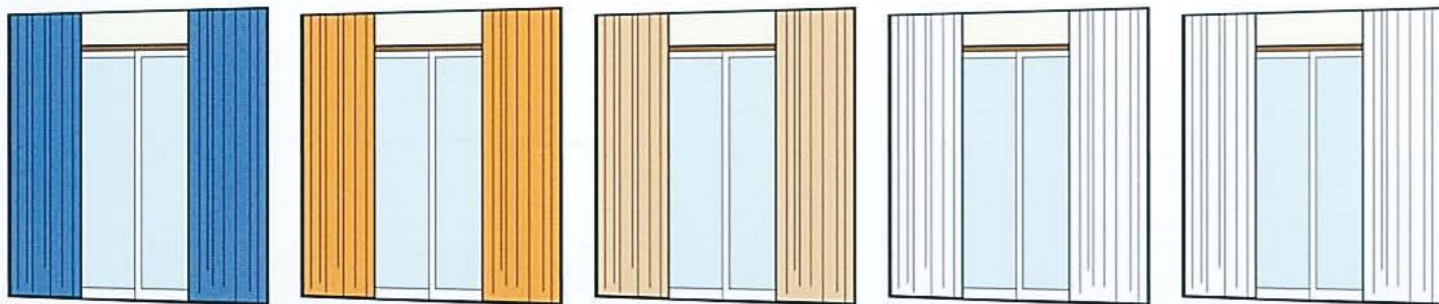


ご家族でお気に入りのイメージは同じだったでしょうか、それとも違った好みだったでしょうか。皆さんでいろいろお試しください。

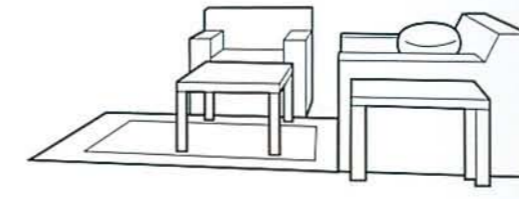
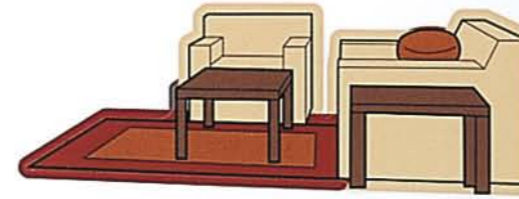


※刃物の取扱いには充分ご注意ください。

●カーテン…ハサミなどで切り取ってください。



●ソファとラグのセット
ミシン目に沿って切り取ってください。



●リビングボード
ミシン目に沿って切り取ってください。

